

ちばの博物館

<http://www.chiba-web.com/chibahaku/>

発行・編集
千葉県博物館協会
〒260-8682
千葉市中央区青葉町955番地
千葉県立中央博物館
TEL.043-265-3111

3年半ぶりにリニューアルオープン —野田市立中央小学校教育史料館—

野田市立中央小学校教育史料館は、本校の創立110年を記念して昭和58年に創設された資料館を拡充し、創立120周年にあたる平成5年に開館しました。明治6年の開校以来の歴史を紹介する第一史料室や、昭和3年建設当時のまま保存された旧校長室など、3つの展示室が校内に点在しています。

開館以来、同校の歴史のみならず、地域の教育史を伝える場として活動を続けてきましたが、この度、約3年間の耐震工事と半年の展示準備期間を経て、平成28年10月1日にリニューアルオープンしました。

主な展示物は明治時代から各時代に使われていた教科書や教員の日誌、学校行事などを写した古写真、修学旅行の経路や運動会のプログラム、卒業アルバム、表彰状などで、多くは卒業生から寄贈されたものです。火鉢やダルマストーブ、健康診断の器具、五つ玉そろばんや石板と石墨など、先生や子どもたちが実際に使っていた道具もあり、当時の学校の雰囲気を伝えています。また、過去に行った企画展を紹介するコーナーとして、教育双六のコレクションや、昭和初期に活躍した郷土の童謡作曲家で、本校の音楽教師も務めた山中直治に関する資料も展示しています。



▲展示室の様子



▲外観

- ◆開館時間／午前10時～午後3時
- ◆開館日／第2と第4土曜日（長期休業中及び祝祭日は休館）
- ◆入館料／無料
- ◆問い合わせ先／電話：04-7122-2116 FAX：04-7122-2117
- ◆ホームページ／<http://business2.plala.or.jp/shiryou/>
- ◆交通／東武野田線（東武アーバンパークライン）野田市駅、愛宕駅から各徒歩7分

- 3年半ぶりにリニューアルオープン
—野田市立中央小学校教育史料館— …… 1
- 渚の博物館—観光交流拠点における役割— …… 2～3
- 平成28年度企画展「描かれた城と藩」をふりかえって …… 3
- 平成28年度研修会参加報告 …… 5～6
- 春から秋の催し（4月～9月） …… 6
- 展覧会案内 …… 7
- 日誌抄・編集後記 …… 8

渚の博物館（館山市）—観光交流拠点における役割—

館山市立博物館学芸員 宮坂 新

渚の博物館は、館山港に位置する「みなとオアシス“渚の駅”たてやま」（以下、“渚の駅”たてやま）内にある。同施設は、平成21年に県から移譲を受けた県立安房博物館の施設を元に、館山市が整備したものであり、収蔵資料の保存や展示といった博物館機能を維持しつつ、観光交流拠点として新たに生まれ変わっている。ここでは、観光交流拠点の中に位置する博物館の一例として、当館の現状と役割を紹介したい。



外観

1 “渚の駅”たてやまの概要

“渚の駅”たてやまは、平成24年3月に開設した。全長500mの大型栈橋（館山夕日栈橋）に隣接しており、客船ターミナルとしての機能も有している。館内には渚の博物館、海辺の広場、展望デッキがあり、平成27年には「館山ふるさと大使」であるさかなクンのギャラリーも設置された。海辺の広場は、館山湾に生息する魚や生き物を大型水槽で観察できる施設であり、レクチャールームを備え、教育普及活動も行っている。渚の博物館とともに、観光と学習の両面を担う存在と言える。このほか商業施設棟では、民間事業者がレストラン・売店を運営している。

このように、さまざまな機能を備えているのが本施設の特徴である。なお、入館は無料で、平成27年度の

入館者数は311,791人である。

2 渚の博物館—展示と収蔵資料—

次に、“渚の駅”たてやまの一部を占める渚の博物館について述べていきたい。当館は、旧県立安房博物館が収集してきた房総半島各地の資料を受け継いでおり、収蔵資料のうち、「房総半島の漁撈用具」2,144点が国の重要有形民俗文化財、「房総半島の万祝及び製作関連資料」1,403点が県の有形民俗文化財に指定されている。これらの資料を活用するため、当館では「房総の海と生活」を展示テーマとし、館山市だけにとどまらず房総半島全体を対象に、海とともに生きた人々の生業・生活・文化を紹介している。

展示室は、常設展示室（約354㎡）と企画展示室（約194㎡）が各1室あり、企画展示室は半分を市民ギャラリーとして貸し出している。常設展示室では、網漁・釣漁・潜水漁など、漁法ごとに関連資料を紹介するほか、漁村の民家を再現し、生活用具も展示している。また、全国屈指のコレクションを誇り、美術的にも価値の高い万祝（豊漁の際に製作・配付される藍染の着物）を製作関連資料とともに展示しており、当館の目玉となっている。

企画展示室では年間を通じてテーマ展示を行っており、現在は「館山を彩る作家たち」と題して、市内の水墨画家や織物作家の作品を紹介している。旧県立安房博物館のもう一つのコレクションに、唐棧織や綴錦織、房州うちわなどの伝統工芸資料があり、これらの資料はおもに企画展示室におけるテーマ展示で活用している。

収蔵庫は、収蔵庫棟に第1～第3収蔵庫と特別収蔵庫があり、他に2室を収蔵スペースとして利用している。収蔵庫棟1階の第1収蔵庫には昭和30年頃まで使用されていた大型の木造漁船を中心に収蔵しているが、これらの資料は移動が難しいため、入館者が室内に入って見学できる「収蔵展示」という方法をとっている。



常設展示室



企画展示室



国指定重要有形民俗文化財
「房総半島の漁撈用具」

3 博物館本館との連携

館山市には、昭和57年に開館した館山城（八犬伝博物館）と翌年開館の博物館本館があり、渚の博物館は3つめの市立博物館としてリニューアルされた。これら3館の展示や収蔵資料管理は、基本的に博物館本館の学芸職員が一体的に担い、効率化を図っている。また、“渚の駅”たてやま全体の管理は市経済観光部みなと課、展示や収蔵資料の管理など渚の博物館に関わる部分については、“渚の駅”たてやまに配属された学芸員1名（併任）と本館に配属された博物館職員が担当しており、両課の連携によって運営がなされている。

展示内容については、博物館本館が当市を中心とした安房地方の歴史と民俗、館山城が安房ゆかりの文学作品『南総里見八犬伝』をテーマとしているのに対し、渚の博物館では前述のとおり「房総の海と生活」を常設展示のテーマにすることで、既設の2館と住み分けを図っている。



第1収蔵庫（収蔵展示室）

4 観光交流拠点の中の博物館

先にも述べたように、当館は“渚の駅”たてやまという観光交流拠点の一部として存在している。しかも、パネルやレプリカ資料ではなく、国や県指定を含む実物資料を数多く展示しており、かつ大規模な収蔵庫も設置しているという点が、当館の特徴である。観光施設の一部として展示スペースを設置したのではなく、元々博物館であった建物を活用した本施設の成立事情を示していると言えるだろう。

博物館が観光交流拠点の中にあることによって得られるメリットとしては、相乗効果が挙げられる。観光と学びの両方を提供することにより、観光客向けあるいは市民向けと限定するのではなく、多様な人々が訪れ、交流する場となっているのである。

本施設では、博物館の展示を見るために来館される方は恐らく稀であり、大部分は観光情報を得るため、

あるいは買い物や食事、乗船などを第一の目的として来館していると考えられる。こういった施設に博物館の展示があることは、（自発的には博物館を訪れなかったかもしれない）来館者に対し、資料との偶然の出会いをもたらし、思いがけない学びや発見の機会となる場合がある。例えば、土産物を買うために立ち寄った団体客が、展示されている漁具を懐かしんで故郷の思い出話に花を咲かせる、といったような光景を見かけることがあり、これは当館が観光交流拠点の中にあつたからこそ生まれた幸運な出会いであろう。

しかしながら、こういった幅広い来館者を対象とすることには一方で難しさもある。来館者の多くは、必ずしも歴史や文化、漁業に興味があるわけではなく、そもそも「展示を見る」といった行為自体に魅力を感じない方々もいるだろう。また、展示している実物資料の保存管理という面でも課題は多い。この他、建物を再利用していることにより、施設の活用に制約が生じる場合もある。

上記の点をふまえた上で、観光交流拠点という特性を活かした展示とはどうあるべきか、という問題について、展示手法やテーマ・資料の選択、解説キャプションの内容・分量など細かい点まで含めて再検討が必要と感じている。一方で、当館は国・県指定の文化財をはじめ、多数の貴重な資料を所蔵する博物館であり、その保存と活用が最大の責務であることは言うまでもない。この両特性を活かしながら、さらなる魅力向上を図っていきたい。

【施設概要】

名 称	渚の博物館（“渚の駅”たてやま内）
所 在 地	館山市館山1564-1
休 館 日	毎月最終月曜日・年末年始
開館時間	9：00～16：45
入 館 料	無料



常設展示室

平成28年度企画展「描かれた城と藩」をふりかえって

会期：10/12～12/4〔45日開館〕 入館者数：4,433人

君津市立久留里城址資料館 平塚 憲一

地域住民や関係機関からの情報提供によって近年発見された、久留里城の絵図や旧久留里藩士の描いた画などを紹介しながら、より久留里の歴史に関心を寄せていただくことをねらいに実施した。

城の絵図については、現在確認できるものすべてを原本・写本・写真パネルを含めて紹介し、藩の歴史について多くの著作をのこす旧藩士森勝蔵^{もりかつぞう}の、新たな資料（絵巻）が地域から寄贈されたことで、これを目玉として披露した。

大きな絵図や長い絵巻物の展示には、細心の注意をはらう苦労もあったが、ビジュアル的にもインパクトを与えやすく、城郭の全体像が把握できる図や、旧藩時代を偲ぶ藩士の心が伝わる画は、それぞれ観覧する者に親しみをもって受け入れられたようで、1日平均約100人の来館者を得ることができた。

会期中には、展示資料を前にした解説会、また関連の講演会・講座を開催したが、地域住民を中心に活発な質問が飛び交うなど、活気みなぎるものとなった。

新出資料の公開は、研究者の研究意欲向上だけでなく、藩士の末裔をはじめ資料所有者にも刺激となり、自身の先祖や地域の歴史を語る資料を見直す意識を高めたこと、また、これに伴って博物館がおこなう調査研究や、その後の資料保存へのとりくみを理解する動きにもつながった。

実際、展覧会終了後も、継続して調査研究の対象となりうる資料の提供を受けつづけていることは、今回の展示が地域のなかで一定の効果をあげたものと受けとられ、博物館の事業を発展させるうえで、あたりまえではあるが、地域の信頼を得る大切さを改めて痛感する機会となった。



展示風景



ぬいぐるみの製造、販売
株式会社 エスティー



可愛い動物のぬいぐるみを数多く、生産、販売しています。
オリジナル商品の開発、生産も承ります。

www.auroraworld.jp

虫菌害対策(ガスくん蒸)・生物生息調査・空気環境調査

文化財保存の
エキスパート

ECC 環境コントロールセンター

【本社】(環境部・研究開発室・営業部・総務部・経理部・情報管理室)
〒260-0806 千葉市中央区宮崎1-22-10
TEL 043-265-2261 FAX 043-261-0402
URL http://www.e-c-c.co.jp

屋内外広告物全般 企画・製作・施工

ステンレス・アルミ製各種看板・電飾看板
道路標識・街路表示板・観光絵看板
各種横断幕・懸垂幕・のぼり旗
プラスチック製品加工

千葉県屋外広告業登録 第202号

大窪美術工房

〒262-0002 千葉市花見川区内山町191番地
TEL 043(257)1221(代) FAX 043(257)1224
E-mail: art-studio.okubo@apost.plala.or.jp

平成28年度研修会参加報告

千葉市立郷土博物館 林 聡香

平成28年11月18日、千葉県立美術館において千葉県博物館協会研修会が開催された。テーマは「博物館写真資料の加工から印刷まで」である。

昨年度の研修「写真画像の編集—Photoshopを中心に—」の内容を継承し、写真資料の保存・活用の適正化および印刷刊行物の仕上がりを向上させることを目的としている。講師は昨年引き続き、奈良文化財研究所文化財写真課程研修講師の玉内公一氏をお招きした。

午前中はデジタルデータにおける色の概念や保存形式の違いなど、写真加工を行う際の基礎知識についてお話しいただいた。午後は千葉県立美術館が所有するクールベ《嵐》の写真を、研究員の記憶をもとに原本の色に近づけていく過程をとおして、具体的な加工技術について教えていただいた。

以降は講義内容を①作業環境、②加工、③印刷、④発注先との調整の4項目に分けてポイントを報告する。

① 作業環境を整える

(ア) 撮影時にカラーチャートまたはグレースケールを使用する

画像編集の際に、画像内のカラーチャートまたはグレースケールとそれぞれの実物の色を比較することにより、画像内の色を実際の色に近づけていくことが出来る。写真画像を正確に評価するためには必須の道具。

資料撮影の際に、資料と同じ照明を当てて画面の中央に配置して撮影する。

(イ) モニターの明るさと環境光を整える

Photoshopで描画色をL:50、a:0、b:0（露出の中心）に設定し、全画面塗りつぶす。Fキーを2回押し、全画面表示にすると黒い画面の中にグレーの四角ができた状態になる。

グレースケールを使って、モニター内のグレーの明るさや彩度を確認する。スケールと同じように見れば、モニターの明るさと環境光は問題ないことがわかる。

(ウ) 壁の色にも注意する

可能であれば（イ）の作業の時はパソコンの周辺の壁にはグレーの紙を貼っておきたい。人間の目には自動補正効果がついているので、壁が明るすぎたり暗すぎたりすると同じ画像でも色が違って見えてしまう。

(エ) モニターの見方を確認する

モニターは見る角度によって色が変わって見えてしまう。まっすぐみられる位置を探し、常にその位置で使用できるようにする。ノートパソコンの場合



▲玉内公一氏による講演

は、まっすぐみられる角度を探し、常にその角度を再現できるようにウィンドウを裏から支える台を用意する。

②加工

(ア) 加工する前に階調を8bit から16bit に広げる

劣化を少なくするために行う。加工が終了したら、保存する前に8bit に戻す。

(イ) レベル補正レイヤーを使って加工する

全体の色調補正ではなく、レイヤーごとに補正をかけて調整していく。補正がない状態と見比べることができ、失敗してもレイヤーを削除すればすぐに取り消すことが出来る。

(ウ) ヒストグラムを見ながら調整する

ヒストグラムは明るさにおける色の分布で、左が暗、右が明を表している。RGBヒストグラムでは、いくつかの山のピークが画面の中で一定のボリュームを占める被写体の色味に対応している。「レッド」「ブルー」「グリーン」ヒストグラムではそれぞれの色味ごとの明暗分布を確認できる。

(エ) 記憶色に注意

記憶だけをもとに加工を行うと、どうしても原本との色のずれが発生してしまう。

研修では同じ画像に対して原本と同じ色を目指して、2通りの加工を行った。完成した画像を比較すると、同じ色を目指していたはずなのに異なる色になっていた。

妥協しないで本物の色に近づけていくためには、最低限グレースケールを使用する必要がある。

(オ) 最後にノイズを1%加える、または画像解像度を101%にする

劣化を少なくすることができる。

③印刷

RGBモードからCMYKモードへ変換する。RGBモードはモニター上に色を表示するためのカラーで、

CMYK モードは紙で印刷するためのカラー。

CMYK モードは紙やインクの知識を持っていないと、思ったおりの発色を出すことが出来ないの、変換は極力発注先に任せるのが望ましい。

④発注先との調整

①の手順を元に発注先とこちらの画像を見る環境を揃えて、主観ではなく数値に基づいた調整を行う。データそのものが悪いのか、こちらの環境が悪いのか、先方の環境が悪いのか、先方のデータハンドリングが悪いのか、など考えられる原因を一つ一つつぶしていく。

今回デジタルの加工技術に関わる研修に初めて参加して特に印象に残ったのは、具体的な加工技術を習得する前に作業環境を整えることの重要さである。環境を整えるためには、最新の機材をそろえることが最も望ましいが、予算の関係もあり対応できる館は限られている。現状の機材を用いてできる限り理想に近づけていくためには、本研修のような機会にデジタルデータの基礎を学び、自らの館で取り入れることができるものから着実に対応していくことが必要だと感じた。

* 春から秋の催し (4月～9月) *

館園名・行事の種類	行事名	開催期間・期日	館園名・行事の種類	行事名	開催期間・期日
●市原湖畔美術館 (市原水と彫刻の丘)	TEL 0436-98-1525		●千葉県立中央博物館大多喜城分館	TEL 0470-82-3007	
展覧会	カールステン・ニコライ展:パララックス	開催中～5月14日	その他イベント等	体験教室「甲冑・小袖・袴の試着」	5月5日、6月15日
展覧会	絵画グループ展 (仮称)	6月3日～7月30日	その他イベント等	博物館セミナー:きのご観察会	6月17日
展覧会	アート・オブ・ラップ展 (仮称)	8月11日～9月24日	展覧会	収蔵資料展「新収蔵資料展」	7月13日～10月15日
●金谷美術館	TEL 0439-69-8111		●千葉県立中央博物館分館海の博物館	TEL 0470-76-1133	
展覧会	金谷美術館コンクール2016	開催中～5月7日	展覧会	収蔵資料展「夏休み海の学びスペシャル エビぞんまい」	7月21日～9月2日
展覧会	寺田コレクション展 (仮称)	5月14日～9月3日	●千葉県立美術館	TEL 043-242-8311	
●鴨川シーワールド	TEL 04-7093-4807		展覧会	春のアートコレクション「金子周次版画展-浪の響きのひそまる間-」	4月22日～6月2日
講演会・講座等	動物友の会 月例会	4月15・22日、5月20・27日、6月17・24日、7月22・29日、8月19・26日、9月23・30日	展覧会	特別展 立体造形の現在過去未来-The フィギュア in ナバー	7月22日～9月24日
講演会・講座等	ジュニアトレーナー	6月10・11日、6月17・18日、6月24・25日、7月1・2日、7月8・9日	●千葉県立房総のむら	TEL 0476-95-3333	
講演会・講座等	サマースクール	7月24日～28日、7月31日～8月2日	その他イベント等	さくらまつり	4月1・2日
●木更津市郷土博物館のすず	TEL 0438-23-0011		その他イベント等	春のまつり	5月3日～5日
企画展	「博物館でファッションショーを—スズコレ2017 spring—」	開催中～6月18日	展覧会	「常磐道の遺跡展」	7月15日～9月24日
●城西国際大学水田美術館	TEL 0475-53-2562		●千葉県科学館	TEL 043-308-0511	
展覧会	浮世絵でつづる房総人物伝1 義民 佐倉宗吾	5月16日～6月10日	展覧会	春の企画展「深海展PartI—深海を調査せよ!—」	開催中～4月9日
展覧会	橋本博英展 光と風を感じて	6月27日～7月22日	展覧会	ゴールデンウィーク企画展「深海展PartII—深海を調査せよ!—」	(仮称) 4月15日～5月14日
展覧会	浮世絵の版元と出版	9月26日～10月14日	●千葉県美術館	TEL 043-221-2311	
●市立市川考古博物館	TEL 047-373-2202		展覧会	絵本はここから始まった—ウォルター・クレインの本の仕事	4月5日～5月28日
展覧会	速報展「新発見外環自動車道の遺跡—第6回後通遺跡」	開催中～5月28日	展覧会	歿後60年 椿貞雄 師・劉生、そして家族とともに	6月7日～7月30日
展覧会	ホール小展示「縄文の海を泳いだコククジラ」(仮称)	6月24日～平成30年6月10日	展覧会	ポスト美術館所蔵浮世絵名品展 鈴木春信	9月6日～10月23日
講演会・講座等	講演会「縄文の海を泳いだコククジラ」(仮称)	7月8日	●千葉県立加曾利貝塚博物館	TEL 043-231-0129	
●市立市川歴史博物館	TEL 047-373-6351		その他イベント等	縄文春まつり (仮称)	5月上旬
展覧会	(仮)開館35周年記念平成29年度企画展	「利根川東岸式覧にみる市川市域」 7月16日～9月3日	その他イベント等	縄文ひろば夏休み縄文体験(縄文体験、縄文らし体験等)	7月下旬～8月末
●袖ヶ浦市郷土博物館	TEL 0438-63-0811		●千葉県立郷土博物館	TEL 043-222-8231	
その他イベント等	ミュージアム・フェスティバル	6月3・4日	講演会・講座等	講義「装束の歴史—公と私—」	5月3日
展覧会	企画展「石とのかかわり」	7月15日～9月3日	講演会・講座等	千葉市史研究講座「千葉市域や近隣地域の歴史を学ぶ」	6月24日、7月22日
展覧会	アクアラインなるほど館ロビー展「アクアライン20周年記念		●長南町郷土資料館	TEL 0475-46-1194	
展覧会	アクアライン風の塔フォトチャレンジ(仮)	7月22日～9月10日	展覧会	子どもたちが作った長南袖風展	5月1日～6月3日(予定)
●館山市立博物館	TEL 0470-23-5212		●DIC川村記念美術館	TEL 0120-498-130	
展覧会	新収蔵資料展「あたらしい資料のご紹介」	4月29日～6月11日	展覧会	ヴォルス—路上から宇宙へ	4月1日～7月2日
展覧会	収蔵資料展「どうぶつ大集合」	7月15日～9月3日	講演会・講座等	上記展覧会会期中に、講演会やギャラリートークを予定	
●千葉県経済大学地域経済博物館	TEL 043-253-9111		●成田山書道美術館	TEL 0476-24-0774 ※4月24日～9月1日は休館	
講演会・講座等	古文書相談室	6月10日	展覧会	今日の書壇特集 高木聖鶴 併催 成田山全国読書大会	開催中～4月23日
●千葉県立現代産業科学館	TEL 047-379-2000		展覧会	千葉県書道協会役員展 併催 金子勝松展(仮称)	9月2日～10月22日
その他イベント等	プラネタリウム上映会(仮称)	8月9日～27日(予定)	●野田市郷土博物館	TEL 04-7124-6851	
●千葉県立関宿城博物館	TEL 04-7196-1400		展覧会	市民コレクション展「夢を乗せて走れ!鉄道模型の魅力—上坂暢一さんと土生谷博之さんのコレクション—」	4月8日～7月3日
展覧会	昔のくらし展	4月25日～7月2日	●松山庭園美術館	TEL 0479-79-0091	
展覧会	パネル展「カスリーン台風から70年」	7月4日～9月28日	展覧会	「実験02」～新たな絵画の冒険～	開催中～4月16日
●千葉県立中央博物館	TEL 043-265-3111		展覧会	第14回「猫ねこ展覧会2017」	4月21日～7月30日
展覧会	春の展示「五七五で自然を切り取る—生態園を子どもの目で読むと—」	開催中～5月21日	●陸沢町立歴史民俗資料館	TEL 0475-44-0290	
展覧会	企画展「きのごワンダーランド」	7月22日～9月10日、9月16日～12月27日	展覧会	第14回館蔵名品展・企画展「再生する名刀の美—GHQ接収刀剣—」	開催中～5月28日
●千葉県立中央博物館大根利分館	TEL 0478-56-0101		その他イベント等	第23回時速4kmで確かめる日本の歴史	
展覧会	トビックス展「なつかし昭和のくらしとクルマ」	4月1日～5月7日	展覧会	「地域再発見!陸沢町上之郷地区」	4月22日
展覧会	企画展「ウナギとサケ—海とかわる不思議なさかな—」	5月27日～6月25日	展覧会	企画展「郷土玩具と昔のおもちゃ」	6月17日～9月23日
展覧会	夏休み展示「発見!水辺のムシたちと水草」	7月15日～8月31日	●茂原市立美術館・郷土資料館	TEL 0475-26-2131	
			展覧会	春の優品展	4月4日～5月17日
			●和洋女子大学文化資料館	TEL 047-371-2494	
			展覧会	竹久夢二のまなざし—木版画の女性たち—	4月4日～6月17日

詳細は直接館にお問い合わせください。

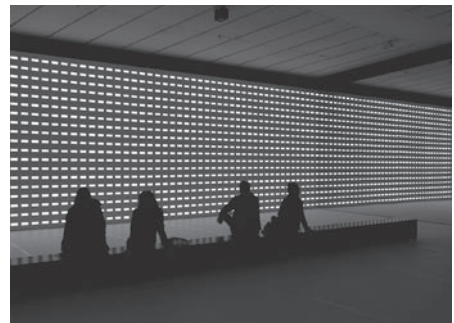
* 展覧会案内 *

市原湖畔美術館

カールステン・ニコライ: Parallax パララックス

カールステン・ニコライは、人間の知覚や自然現象をテーマにした作品を発表し続け、現代を代表するアーティストの一人です。日本国内での個展としては最大規模となる本展は、日本未発表の作品を含む6プロジェクトを展示。新たな鑑賞体験を味わうことができます。

<会 期>開催中～5月14日(日)
 <休館日>4月3日(月)
 <料 金>一般1,000円、65歳以上の方・高校生・大学生800円、
 中学生以下無料



カールステン・ニコライ《undisplay》2012年、
 Photos: Axel Schneider, Courtesy Galerie
 EIGEN+ART Leipzig/Berlin and Pace
 Gallery

佐倉市立美術館

収蔵作品展 浅井忠と弟子たち

日本近代洋画の先駆者として足跡を残した浅井忠は、多くの後進を育てた指導者としても知られています。本展では浅井忠とともに、その弟子たちのうち、佐倉にゆかりある都鳥英喜と倉田白羊、京都で浅井に学んだ梅原龍三郎や小川千甕、黒田重太郎などをあわせてご紹介します。



浅井忠《にわとり》
 1902(明治35)年
 佐倉市立美術館蔵

<会 期>4月4日(火)～5月21日(日)
 <休館日>月曜日(5月1日は開館)
 <料 金>無料

DIC川村記念美術館

ヴォルス 一路上から宇宙へ

ヴォルス(1913-51)は音楽と詩に親しみ、独学で絵を描くようになった稀有な芸術家。ドイツに生まれ、戦時下において写真家、画家として活動をし、死後はアンフォルメル先駆者と評されました。本展は写真・水彩・油彩・銅版画そして言葉とヴォルスの作品世界を約120点で俯瞰する日本で初めての展覧会となります。



《無題》
 1942/43年
 DIC川村記念
 美術館蔵

<会 期>4月1日(土)～7月2日(日)
 <休館日>月曜日
 <料 金>一般1,300円、学生・65歳以上1,100円、
 小・中学生・高校生600円

千葉市美術館 絵本はここから始まった —ウォルター・クレインの本の仕事

19世紀後半にイギリスで活躍し、現代の絵本の基礎を築いた重要な画家、ウォルター・クレイン(1845-1915)。本展は、クレインが手掛けたほぼすべての絵本と主要な挿絵本あわせて約140点を網羅し、彼の芸術を本格的に紹介する日本で初めての展覧会です。

<会 期>4月5日(水)～5月28日(日) ウォルター・クレイン《美女と野獣》
 <休館日>5月1日(月) 1874年
 <料 金>一般1,200円、大学生700円、高校生以下無料 個人蔵



日誌抄

事務局

■第2回役員会

平成28年12月8日(木) 10時~12時
 会場/千葉県立中央博物館
 内容/平成28年度事業報告・会計中間報告等について

研修委員会

■研修会

平成28年11月18日(金) 10時~16時
 会場/千葉県立美術館
 内容/講演会「博物館写真資料の加工から印刷まで」
 講師:玉内公一氏(写真家)

■第3回委員会

平成29年2月7日(火) 14時~16時
 会場/千葉県立美術館
 内容/①研修会の反省について
 ②次年度活動計画について

調査研究委員会

■第1回視察

平成28年12月14日(水) 14時~16時
 場所/葛飾区郷土と天文の博物館
 内容/①葛飾区郷土と天文の博物館のボランティア活動について
 ②研究報告会講師依頼

■第2回委員会

平成29年2月1日(水) 14時~16時
 会場/千葉県立現代産業科学館
 内容/研究報告会準備について

■研究報告会

平成29年3月14日(火) 13時~17時
 会場/千葉県立現代産業科学館
 内容/演題「博物館が結ぶヒトとマチー地域博物館とボランティア再考ー」

広報委員会

■第3回委員会

平成29年2月3日(金) 14時~16時
 会場/千葉市美術館
 内容/①協会ホームページのリニューアルについて
 ②『ちばの博物館』139号の編集・入稿について

地域振興委員会

■各地域ブロックの活動

平成28年6月30日(木)~平成29年1月27日(金)
 内容/各ブロック会議の開催

■ブロック代表者会議(中核館会議)

平成29年2月15日(水) 14時~16時
 会場/千葉県立中央博物館
 内容/①28年度の各ブロック活動報告について
 ②情報伝達訓練の課題等について

編集後記

『ちばの博物館』139号をお届けいたします。
 各館、各委員会の皆様におかれましては、情報提供または原稿作成にご協力いただき、厚く御礼申し上げます。

各館園では、特徴的な企画展・特別展、さまざま工夫を凝らした講座やイベント等を開催しています。今後も、博物館の紹介や取組み、行事案内や展示報告など、各館園の魅力を伝えることができるよう、会報紙や協会ホームページなどを通じ、積極的に発信していきたいと思っております。
 (土屋)

印刷物

のことならおまかせください!!

チラシ・ポスター・POP・シール・名刺・封筒・
 ハガキ・DM・カタログ・パンフレット・伝票etc

有限会社エーワンネットワーク
 〒273-0015船橋市日の出2-2-13 第2ナカイビル102
 営業時間/9:00~18:00 定休日/日曜・祝日
TEL.047(437)6208



関東港業株式会社
 KANTO KOGYO Co., Ltd.

Protect Cultural Assets !!

IPM理念に基づいた
 保存環境の調査~提案・施工まで
 文化財保存対策なら当社にお任せ下さい

専用くん蒸庫完備
 (各種薬剤対応)
 28ml/9ml対応

各種くん蒸施工・環境調査・クリーニング・資料保存用品 ect

〒261-0002
 千葉市美浜区新港58-2
 TEL 043-241-1721 FAX 043-241-0080
<http://www.kan-ko.co.jp>

水族館・動物園等の企画/デザイン・設計・施工・管理
ONY KOBO CO., LTD.
 株式会社 兎工房
 東京都千代田区神田神保町 2-48
 〒101-0051 TEL 03-3221-1102 FAX 03-3221-1183